

第6回 新大阪駅周辺地域まちづくり検討部会 議事要旨

■日 時：令和7年3月25日（火）15:00～17:00

■場 所：大阪市役所 屋上階（P1）共通会議室

■出席者：別添の「出席者名簿」のとおり

■次 第：○開会

- ・あいさつ
- ・出席者紹介

○議事

1. 新大阪駅エリアの交通結節機能強化の検討について
2. 十三駅エリア計画・淡路駅エリア計画の作成について
3. まちづくり方針の更新について

○報告

- ・新大阪駅周辺地域のプロモーションの取組について

○閉会

■要 旨：

○開会

部会長：森岡 大阪府副知事

大阪府副知事の森岡でございます。本日は何かとご多用の中、ご足労いただき本当にありがとうございます。会議の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

先週末21日金曜日に、うめきた2期区域の開業エリアが拡大され、新たにMICE施設やオフィス、ホテルなどが開業したところです。このような中、「大阪・関西万博」がいよいよ19日前となり、これからますます国内外の皆様が大阪へ来訪していただけることが非常に目に見える形になってきています。この大阪・関西万博等のインパクトを活かし、大阪がさらに成長・発展していくためには、都市魅力に資する大規模なプロジェクトを着実に進める必要がございます。

本日ご議論頂く、新大阪駅周辺地域については、リニア中央新幹線や北陸新幹線の全線開業等を見据え、「世界有数の広域交通ターミナルのまちづくり」の実現をめざして、皆様とともに取組を進めてきたところです。昨年8月に開催させていただきました「まちづくり検討部会」では、今年度、新大阪駅が開業60周年を迎える機会を捉え、民間開発の機運醸成に向けたプロモーションに取り組むこと、あるいは、十三・淡路駅エリアにおきまして、良好な都市開発プロジェクトを誘発するため、エリア計画の骨格をもとに、地域や関係者の皆様のご意見を反映しながらエリア計画の作成に取り組むことを確認いただいたところです。

本日は、昨年示されました北陸新幹線の駅位置等を踏まえた、新大阪駅エリアにおける交通結節機能強化の検討の方向性や体制についてご議論いただくとともに、十三・淡路両駅の各エリア計画の素案とまちづくり方針の更新素案についてご議論をいただければと思っております。

みなさまの自由闊達なご意見・ご提案をお願いして、開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局

- ・出席者紹介

○議題

1. 新大阪駅エリアの交通結節機能強化の検討について

事務局

・資料説明

資料1-1 新大阪駅エリアの交通結節機能強化の検討について

資料1-2 北陸新幹線（敦賀・新大阪間）新大阪駅に関するご説明資料

部会長：森岡 大阪府副知事

議題1につきまして、ご意見等ございませんでしょうか。

春名 西日本旅客鉄道株式会社代表取締役副社長兼執行役員地域まちづくり本部長

まずはこのような検討会を設置頂けるとのことで、誠に感謝申し上げます。

先ほど、北陸新幹線の駅位置が決まったということで、駅と密接にかかわる駅前広場でございますけれども、交通結節機能というのは早期に計画を具体化する必要があると思っております。

私どもは鉄道事業者でございますが、新幹線並びに、東海道本線、さらには宮原連絡線の3つに囲まれている駅前広場になりますので、そういう意味ではこの検討は鉄道と密接に絡むということでございます。ぜひとも連絡を密に取りながら、この検討に大いに関わっていきたいと思っております。

部会長：森岡 大阪府副知事

前向きなご意見、ありがとうございます。

それでは「新大阪駅エリア交通結節機能強化検討会」を設置することにつきまして、ご異議ありませんでしょうか。

一同

異議なし

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。

それでは、「まちづくり検討部会」のもとに、本検討会を設置することといたします。今後は、この検討会のもと関係者の皆様と連携しながら、交通結節機能強化に向けて具体的な検討を進めていくようお願いします。

ここで、本検討会の座長に就任される予定の名古屋大学特任教授の森川様より、検討会の設置にあたりまして、お言葉を頂戴しておりますので事務局よりご紹介させていただきます。

森川 名古屋大学未来社会創造機構教授（代読：事務局）

新大阪駅エリアの圧倒的な広域交通アクセスの良さを最大限に活かし、広域からの人の流れを十三・淡路駅エリアをはじめとする、周辺の地域や各都市へ広げるために、利用者目線でより良いものとなるよう、駅周辺の広場や歩行者動線のあり方など具体的な検討を進めることは重要であり、早期から交通結節機能強化の検討体制を構築することは大変良い取組だと思います。

将来的な新大阪駅エリアの交通結節機能向上に関して、まちづくり方針の中で駅周辺の駅前広場の再編については触れられていますが、駅空間そのものについてもよりよい空間となるよう、広場と合わせて検討を進めていければと考えています。

新大阪駅エリアについては20年、30年先を見据えながら、各種基盤整備のプロジェクトがバラバラに個別で検討を進めるのではなく、早期から関係者が集まってまち全体としてより良いものとなるよう検討を進めておくということは非常に重要であると考えています。

今後、新大阪駅エリアのまちづくりがより加速するよう、この新たに設置される検討会で議論を進めてまいりたいと思います。

部会長：森岡 大阪府副知事

検討会の設置に向けて、事務局において必要な手続きを進めていくようよろしくお願いします。

それでは、議題1については以上となります。鉄道・運輸機構田中様におかれましては、議題1のみのご出席となります。本日はご出席、誠にありがとうございました。

2. 十三駅エリア計画・淡路駅エリア計画の作成について

3. まちづくり方針の更新について

事務局

・資料説明

- 資料2 十三駅エリア計画（素案）及び淡路駅エリア計画（素案）について
- 資料3 まちづくり方針の更新について
- 資料4 新大阪駅周辺地域まちづくり方針【概要版】（素案）
- 資料5 新大阪駅周辺地域まちづくり方針【本編】【資料編】（素案）

部会長：森岡 大阪府副知事

ただいま説明がありました議題2と議題3につきまして、ご意見を伺ってまいりたいと思います。

小林 京都大学経営管理大学院特任教授

今回、まちづくり方針の更新案が示されたということですが、これまで色々な角度から検討してまいりましたが、方針の方向性に沿って動いていくと喜んでいます。北陸新幹線の駅位置と、十三・淡路のエリア計画が示され、以前から、元気の出るようなまちづくりができればよいと話してきましたが、これを契機に関係者や民間の動きが具体化していくことを期待しています。

北陸新幹線開業までに四半世紀ありますので、今から四半世紀前がどうだったかという、そんなに大きく骨格が変わったというわけではないですが、それでも当時は考えもしなかった SNS やデジタル技術の発展、インバウンドの増加などは想定していなかった、そのような条件が刻々と変わっていくことは想定しておかなければならないと考えます。

今回、まちづくり方針の更新案が示されましたが、そういったことをモニタリングしながら、それに基づいて、コンテンツというか内容を充実していってもらえればと思います。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。おっしゃる通り四半世紀ですので、基本的な部分を考慮しながら、常にその時々に応じて、時流をウォッチしながら、修正していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

橋爪 大阪公立大学研究推進機構特別教授

本日、まちづくり方針の案が提示され、1歩前に進んだ、と考えています。新大阪エリアのキャッチフレーズですが、「新しいの その先へ、新大阪」となりました。「その先へ」というところが重要で、新大阪をさらに新しくするとはどういうことかということを考えていきたいと思えます。また「その先へ」という点は、新大阪だけでなく、十三・淡路も同様だと思っております。従来のままではなくて、エリアの機能転換と機能更新を図っていくことが重要です。

また「加速度的に」というコンセプトも、新大阪エリアで提案させていただいたフレーズではありますが、十三・淡路も、ぜひ、加速度をつけて、まちづくりを進捗いただければと思っております。

小林先生もおっしゃったように、時間がかかる事業ですが、段階的に開発が進んでいくなかで、エリアマネジメントの段階に入る案件も順次出てくるかと思えます。将来に向けて、エリアごとに、また途切れないように機運醸成を民間でも図っていただかないといけません。長くかかる事業だからこそ、継続した、機運醸成が重要だと思っております。

淡路・十三では、緊急整備地域の指定を今後見据えていただきながら、プロジェクトの具体化に向けた検討に入っていただければと思っております。淡路では、連立と、機

能集約のスケジュールが予定通り進んでいくかと思いますが、段階的に開発可能な場所が出てくると思いますので、都市計画の手续等も進めていただければと思います。

十三に関しては、河川敷など周辺に今後検討すべきエリアがあると思います。淀川区役所跡地等活用事業など、地域のイメージを変えていくような事業を順次、具体化させていければと思います。特に十三側から見た大阪梅田方面の景色はすばらしいと思いますので、大都市ならではのダイナミックな景観がございますので、この景観をうまく活かしたエリア形成をしていただきながら、時間はかかりますが、時間が感じられないように、進めていただければと思います。以上です。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。「新しいの、その先」に向けまして、機運醸成その他、進めていきますので、ご指導よろしく願いいたします。

森川先生につきましては、事前にご意見を頂戴しておりますので、事務局よりご紹介させていただきます。

森川 名古屋大学未来社会創造機構教授（代読：事務局）

淡路駅エリアにつきましては、現在でも、住宅としての役割が大きく、住宅を中心にまちづくりを検討していく必要があると考えます。

また、十三駅エリアにつきましては、既存3路線で京都や神戸など多方面に行けるといった交通利便性が既に高く、加えて新線が開通するとなれば、さらに利便性が一層向上します。

また、地域の特性として、アート活動が盛んなことや淀川の自然を活かした河川敷利用、駅周辺を中心に広がる繁華街なども挙げられます。こうした環境は、スタートアップやベンチャー企業などにとって魅力的であると考えられるため、今の環境も活かしつつ、スタートアップやベンチャー企業などが集まり、活動しやすいまちづくりという観点も含めて、今後検討してほしいと思います。

部会長：森岡 大阪府副知事

森川先生、ありがとうございました。

春名 西日本旅客鉄道株式会社代表取締役副社長兼執行役員地域まちづくり本部長

まちづくり方針の更新ということで、これからの新大阪への期待感を高めていくという意味でも、将来の絵姿を示していくということが重要だと考えております。

その上で今後の新大阪エリアについては、空港アクセスや、高速鉄道網の整備、さらには、なにわ筋線、色々な鉄道網が結節され、ますます便利になるということで、日本各地の距離が近づくこととなります。先ほどの資料でも「日本中央回廊の西の中心」というご説明ございましたが、その意味でも、ビジネス面におきましては、東京以外の地

域と新大阪が繋がるということでございますし、逆にその東京の補完もできる、北陸新幹線など代替の交通ネットワークが繋がるということで、色々な意味でのビジネスで使えるのではないかと考えています。加えて、文化・観光面におきまして、奈良とも直結する列車も今回設定させていただきましたし、夢洲とも直結する列車も今回万博に合わせて走らせてもらっています。そういう意味で、色々なビジネス、観光をさらに瀬戸内とも繋がるということで世界有数の交通結節点、これを是非とも一貫したまちづくりが必要なんだろうと考えています。

我々としてはやはり新大阪をリアルで集まれる、触れ合いの体験、交流の時間価値を最大化する、そういった機能をぜひとも発揮すべきではないかと考えております。具体的に、まずは新大阪のブランディングをどうするのかということが重要だと思っていますし、一方で交流なり、繋がるということを考えますと、冒頭申し上げました、鉄道で実は分断されているというのは、新大阪の1つの課題でございますので、いかに歩行者ネットワークをうまくつないで、交流しやすいまちをつくって、ということが重要ではないかと考えております。ぜひとも一緒になって検討していきたいと考えております。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。

武田 東海旅客鉄道株式会社代表取締役副社長総合企画本部長

今回の新大阪駅周辺地域における、高度なまちづくりに向けた取組みは、東海道新幹線を運行いたします弊社にとりましても、意義のあるものと認識をしております。そして、新大阪駅に隣接する十三駅エリア・淡路駅エリアにおきまして、それぞれのエリアの特色を活かしたまちづくりが進められることは、新大阪駅周辺地域全体のポテンシャルを高めるということに繋がるものであると考えています。今回、まちづくり方針に、新大阪駅の周辺地域が、日本中央回廊の西の中心の役割を担っていく方針が示されました。広域交通のハブ拠点として、そしてまた、世界に繋がる関西のゲートウェイとして新大阪駅周辺地域がさらに高度の機能を果たしていくということを想定しているということだと思います。これを中核といたしまして、十三駅エリア・淡路駅エリアと連坦しつつ、高度な交通結節機能を持つ、拠点圏域が形成されていくということを期待しているところです。弊社といたしましては、広域の交通を担う、鉄道事業者としての立場から、その役割、使命を今後も着実に果たしていくとともに、新大阪駅周辺地域の機能的で質の高いまちづくりの実現に向けて、連携、協力をしながら進めていきたいと考えているところです。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。

高岸 阪急電鉄株式会社執行役員都市交通事業本部沿線まちづくり推進部長

まず先ほど説明をいただきました、十三駅・淡路駅エリア計画素案、まちづくり方針更新素案でございますけど、こちらは、異議なく賛同ということでございます。

十三駅エリアの計画では、具体的に駅とまちが一体となった人中心の空間形成、或いは回遊性向上、周辺の特色を活かした多様な機能の導入などを盛り込んでいただいております。もと淀川区役所の跡地等の活用事業、或いは十三クロスといった、当社グループが現在取り組んでおりますような動きとも符合する、整合する動きでございまして、これからも、それぞれの取り組みを通じて、積極的に情報発信できればと考えております。

また、淡路駅エリアの計画におきましても、柴島浄水場の開発用地プロジェクト、或いは阪急連立関係の開発プロジェクトとともに、駅まち一体の歩行者空間形成、或いは道路交通ネットワーク形成を盛り込んでいただいております。淡路エリアのポテンシャルが可視化され、今後のまちづくりへの期待感が大いに高まるのではないかと感じております。

これらの両エリアの今後の動き、プロジェクトといったものを、今回新たに新大阪駅エリアのキャッチフレーズができたということでございますので、これとともにプロモーションに活用しまして、新大阪駅周辺のまちづくりの機運醸成に向けて、しっかりと情報発信できるということで鋭意取り組んでいきたいと思っております。

また、十三駅・淡路駅どちらにも関わる鉄道事業者といたしまして、この2つのエリアが新大阪駅周辺地域のサブ拠点となるように、関係者の皆様と連携しまして、まちづくりへの展開、或いは各種の取組に対して、積極的に寄与して参りたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。

堀 大阪市高速電気軌道株式会社常務取締役交通事業本部長

十三駅エリア計画、淡路駅エリア計画の作成、まちづくり方針の更新について、提案がありました。我々としても協力していきたいと考えているところでございます。

新大阪につきましては、大阪の北の玄関口ということで我々は認識しております。なにわ筋線と北陸新幹線の計画がありまして、ターミナルとしては、ますます重要性が高まるというふうに認識しています。また11月に北陸新幹線駅位置が示されたということで、計画が一步前進したと考えているところで。将来的に駅前広場が北陸新幹線と

広域交通の結節拠点となって、利用者にとっても利便性の高い空間となることが重要であると考えていますので、関係者の皆様と連携して取り組む必要があると思っています。

十三駅・淡路駅のエリアにつきましては、新大阪駅エリアのサブ拠点ということでございます。地域のまちづくりにおける中心的な役割を担うということで、それぞれのまちの特色を活かした魅力の高いエリアとして、非常に重要であると認識しております。

当社といたしましては、御堂筋線の南改札が新大阪駅前広場に隣接してございます。また、当社の中期経営計画におきまして、駅まち構想ということで、その取り組みの1つといたしまして、オンデマンドバスのエリアを広げていきたいと目指しているところでございまして、利用者や地域のニーズに合った移動手段を提供していきたいと考えてございます。今後、北陸新幹線の計画及び十三、淡路エリア計画を注視して、我々が持つモビリティを活用いたしまして、新大阪エリアを拠点としたエリア、或いは十三・淡路駅周辺のエリア間交通ネットワーク形成に向けて取り組んで行きたいと思っておりますし、新大阪の駅機能、或いは交通結節点の機能といたしましても、皆様と連携をとりながら、検討を進めて参りたいと思っております。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。鉄道事業者の皆様からのご意見もありましたように、大阪・関西という目線で見ましても、現在でも鉄道ネットワークが非常に充実している、そしてこれからの計画もあるということで鉄道事業者の皆様と一体となって進めていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

中橋 国土交通省近畿地方整備局建政部長

まず十三駅と淡路駅エリアの計画の素案につきましては、前回のこの会議の場で、それぞれの地域の特性、特色を活かしたまちづくりをと申し上げたのと、ビジュアル的にもっとイメージしやすいものが今後できたらいいと申し上げましたが、エリアの特色については、住民の意見も踏まえて記載いただいておりますし、ビジュアルにつきましては資料4の中に、3D都市モデルを活用した空間の検討を入れていただいておりますので、意見を取り入れていただいたことに関して感謝申し上げます。

エリア計画それぞれの素案につきまして私どもも賛同したいと思っております。

現在、国交省では都市再生のこれまでの取組を振り返り、中長期的な視点で、新しい時代の都市再生のあり方を検討しているところでございます。4月には中間取りまとめをするというスケジュールで動いておりますけれども、その議論の中で、都市の個性の確立ということが非常に重視されております。地域の資源を活用して、個性を磨くということは、1つ重要な柱になるのではないかと思います。4月の取りまとめを見ながらになると思いますが、そういった国の政策の動きも見据えつつ、引き続き、住民の方

とも意見交換を重ねながら、この十三・淡路エリアの計画をさらに進めていただけたらと思います。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。

北川 国土交通省近畿運輸局交通政策部長

3つのエリア、プラン等につきまして、丁寧に取りまとめていただきありがとうございます。すでに書かれておりますけれども、エリア全体の動線をなるべく早い段階から意識していくのが重要だと考えています。中でもまち全体の周遊とか賑わいを高めるという意味でもバリアフリーの観点も重要になってくると思っております。そういう意味では鉄道駅単体、周辺施設単体だけではなくて、まちづくり全体に落としこんでいく時には、そういう視点が重要と思っております。新大阪、十三、淡路、いずれにつきましても乗り換え拠点ということもございます。今後の課題になってくると思いますが、インバウンド対応として、例えば案内表示とかデジタルサイネージなどを活用して、いかにスムーズな移動を促進していくかという点も大事になってくると思っております。

今回新しく設定される機能強化検討会ですけれども、構成員の中にバス事業者とかタクシー事業者が、今のところ入っていないというところでございますので、どこかの場面で、ご意見を聞いていただくというのもできればと思っております。特にタクシー乗り場につきましてはどのような乗り場の形状にするかとか、どのように捌くかによって違いが出てくると思っております。いずれにしましても、引き続き、皆様と連携させていただきながら進めていきたいと思っております。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。今後のまちづくりににつきましては、仰っていただいたインバウンド対応やバリアフリー、それ以外にも、鉄道の結節であるとともに、乗換駅でございますから、そのあたりの視点を十分大事にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

久米 関西経済連合会常務理事・産業部長

本日も説明いただきました内容につきましては、大いに賛同するものでございます。その上で、関経連といたしましては、新大阪駅エリアにつきましては、大阪・関西のゲートウェイとして非常に重要な拠点であると考えております。また現在関経連におきましては、夢洲から森ノ宮まで、さらにその先まで、大阪市域の東西軸を軸とした広域、大阪市の機能強化が重要だと考えておきまして、それと相まって、新大阪地区、大阪市全体の機能強化に繋がるのが重要だと考えているところでございます。そのためには、

北陸新幹線の早期着工が重要だと考えておりまして、私どもとしましてはこれまでも、沿線自治体並びに関係者の皆様と機運醸成に協力して参りましたが、引き続き、その協力を行いまして、早期実現、早期着工に向けて取り組んで参りたいと考えているところでございます。

その関係で申しますと、今般まちづくりのキャッチフレーズを決定したというのは非常に重要なことだと考えておりまして、関西の意気込みを示すということかと考えております。経済界としましては、新大阪周辺の民間開発の機運醸成、継続的なまちづくりに向けまして、協力して参りたいと考えております。また新大阪エリアの交通結節機能強化検討会ができたということも非常に重要だと評価しているところでございます。ぜひとも広場空間のみならず、駅内部周辺も含めまして、立体的、多層的な視点で、世界に誇れる交通ターミナルのまちづくりを進めていただく、この地域全体の価値向上に資するよう検討をお願いしたいと考えております。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。

近藤 大阪商工会議所常務理事・事務局長

本日ご説明いただきました、十三駅エリア計画、淡路駅エリア計画素案並びに新大阪駅周辺地域に関するまちづくり方針の更新につきまして賛同させていただきたいと思えます。

十三駅エリアでは、淀川の自然やアート音楽の活動の地域資源を活かすという点、それから淡路駅エリアでは、誰もが住みやすく、楽しく暮らせる点など、まちづくりの実現に向けた基本的な考え方におきまして、地域住民の方々のご意見が反映されている点に特に賛同させていただきます。まちづくりの方向性につきましては、この方向で進めていただければと思います。今後は地域の魅力やポテンシャルを引き出す効果的な都市開発をいかに具体的に進めていくかが課題になると思います。そのためにも多くの事業者に関心を持ってもらい、まちづくりに参画いただくことが重要と考えております。私どもといたしましても、主に商工業者への情報発信を通じまして、まちづくりの機運醸成に協力して参りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。

與口 関西経済同友会企画調査部長

ご説明いただきました、十三駅及び淡路駅エリア計画素案につきまして、賛同いたします。

この素案が2025年に議論され決まっていくことに大きな意味があると思っています。近年の大阪の大規模開発の中では、国土軸上の重要な交通結節点という要素が特に強いことと、同時に、「暮らし」の比率が高いエリアであることがよくわかりました。この議論が、パンデミックの発生、人口減少、大規模災害の発生を経験し、このような劇的な変化は起こりうるということが認知された状態で議論が始まるのが大事だと思います。四半世紀後の未来を見据えて考えることに意義があると感じています。万博が開催された2025年から検討が深まっていき、そこでの議論には万博後の知見であったり、技術だったり、価値感、問題意識などがインプットされていく、それによって計画の解像度が向上していく、というような進め方でいけば、新大阪駅周辺地域のまちづくりは、まさに未来社会をデザインする「ケース No.1」と言って良いと思います。今は人口減少、高齢化社会と言いますが、将来人口推計を見ていくと、65歳以上の人口が主要先進国で初めて減少に転じる国を、早ければ25年後には経験することになるわけですから、今悩んでいる高齢化が「止まる」という時に、次どのような社会課題が来るかを、議論の副産物として、他のまちづくりに還元できると思います。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。

岡本 大阪市淀川区長

十三駅エリア計画（素案）の策定にあたりましては、新たに十三駅エリア計画地域連絡会議を設置しまして、昨年の10月に開催されました第1回目の会議にて、地元の皆様からご意見をお聴きし、地元の皆様からは十三駅エリアの発展に対する強い期待を感じております。

先般、十三船着き場と、淀川大堰閘門が完成をいたしまして、京都の伏見から万博会場になります夢洲まで、淀川舟運の活性化が期待されているところでございますし、また来月以降十三船着き場の付近の淀川河川敷でにぎわい施設が部分開業していく予定です。そして、先ほどからお話ございます、もと淀川区役所跡地におきましては、図書館商業施設等からなります複合施設が、来年、令和8年の春、竣工の予定となっております。十三駅エリアのブランド力が高まっているものと感じているところでございます。

一方、新大阪駅周辺地域におきましては、まちづくり方針の更新案が本日取りまとめられまして、都市再生緊急整備地域として、さらなる進展に向けまして、一層の情報発信、官民連携が必要となるものと考えております。淀川区役所といたしましても引き続き、十三駅エリアや新大阪駅周辺地域の発展、ブランド力の向上のために進めてまいりますので、検討部会の皆様方のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。

武富 大阪市東淀川区長

淡路駅エリア計画素案作成に関しましては、先ほどご説明がございました通り、西部地域バリアフリーまちづくり協議会におきまして、意見を聴取し、さらには各地域でヒアリングを行うなど丁寧に、地元地域の声をくみ取ってきたところでございます。地域から、高架下の空間でございますとか、柴島浄水場の機能集約に伴う用地を活用した、将来のまちづくりにつきまして、大いに期待するご意見をいただいたところでございます。また新たな開発と、周辺地域がうまく調和し、長く住み続けられるようなまちづくりの声も伺ったところです。今回素案におきましてはそうした意見が一定反映されているところでございますが、特に、当区におきましては、過去から住民同士の繋がりでございますとか、住民参加などに重点を置きまして、地域活動を行ってきた経過がございますことから、今後の計画更新におきましては、こうした経過を、十分踏まえていただいた上で、引き続き、地域の意見を聴取しながら、具体的な意見の反映をお願いしたいと考えております。

一方、新大阪駅エリアに関しましては、駅とまちが一体となりましたまちづくりや、新大阪駅の交通結節機能の強化は、非常に重要なテーマであると認識しておりまして、隣接する淀川区とも連携を密にしながら、両区に跨るエリアの課題でございまして、まちづくりのイメージを共有しながら検討に参画して参りたいと考えています。新大阪・十三・淡路の各エリアが、それぞれの特性を活かしながら、一体となって発展していくように努めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。地元の皆様からの大いに期待しているというありがたいご意見を頂き、ありがとうございます。地元の皆様の意見を聞きながらこれからのまちづくりを進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

真田 内閣府地方創生推進事務局参事官

地方創生推進事務局で都市再生の制度を所管しております。よろしくお願いいたします。

私からは1点、民間の都市開発事業の具体化を進めて欲しいというお願いの趣旨で発言をさせていただきます。都市再生緊急整備地域を指定しております趣旨は、指定地域内のみで活用可能な、特例措置、例えば都市計画上の特例措置ですとか、税制上の特例措置、こういったものを民間の皆様を活用していただくことで、民間の都市開発事業を促進し、それによって都市の再生を進めていただく、これが、地域指定をかけている趣旨でございます。

この観点で見えますと、新大阪の今の指定されている地域においては、今、具体的な民間の都市開発事業で事業中のもの、また、予定の具体化をしているものが、見当たらない状況なのかなと認識をしております。いろいろ皆様におかれましては各種検討会を設置して、キャッチコピーも決めるなど、活発に活動していただいていると認識をしております、その点では、感謝しているんですけども、一方で、申し上げましたような具体的な事業がないと、地域の指定を続けていく判断が極めて厳しい状況になっていくと、危惧しております。具体化していただいたまちづくり方針とか、決めていただいたキャッチコピーなどを活用して、また民間都市開発の誘導方策検討会という組織も設置をしてもらっているのです、そういったものも活用しながら、民間が事業主体となった都市開発事業の具体化を早急に進めていただきたいと考えております。今申し上げたようなことをしっかりと進めないと、十三とか淡路の地域指定にも、良い影響が及ばないといえますか、もともと指定している新大阪で、特例措置を活用するような事業がなかなか進展していないということになると、サブ拠点と言われている十三とか淡路の指定についても、もともと指定したところがこういう状況なんだから、拡大をする必要があるのかとか、そういった議論になりかねません。是非、民間の都市開発事業の予定を早急に具体化する取り組みも進めていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。民間の都市開発事業の具体化を、というご意見をいただきました。ありがとうございます。新大阪駅エリアにつきましては、先ほどちょっと説明がありましたけれども、北陸新幹線の新大阪駅の駅位置が示されたということで、それにあわせて交通結節機能、この辺りの検討を具体化していき、それに合わせまして、さらなるまちづくりの具体化につなげていきたいと考えておりますので、これからもご指導よろしくお願いいたします。

最後に、高橋副市長お願いします。

高橋 大阪市副市長

本日、3つのエリアのまちづくり方針案が出揃いまして、これで1つ階段を上ったものと思っております。小林先生からもありましたように、実際のまちづくりが概成してくるのは20年、30年先になりますので、絶えずこの3つのエリアのまちづくりが動いていることを積極的に発信することで、先ほど真田参事官からもありましたように、新しい民間事業の投資を引き出して、絶えずまちが動いていることを発信続けて欲しいと思います。例えば、十三駅エリアにつきましては先ほどありましたように淀川区役所跡地の活用事業でありますとか、或いは淀川河川敷十三エリア魅力向上事業などもありますので、そういうことをしっかりと絶えず発信していただきたいし、また淡路でした

ら、この阪急の連立事業であるとか、或いは柴島浄水場の整備というのを、絶えず積極的に発信していただいて、民間の投資を引き出していくという行為をしてもらいたいと思います。とりわけ新大阪エリアにつきましては、今般、新たに交通結節機能強化検討会、これ設置していきますので、その中で、駅前広場の機能向上であるとか、いろんな歩行者動線なども検討していくので、それを検討したら積極的に発信して、まちが動いているんだよということも、PRをお願いしたいと思います。

最後に、特に新大阪については、国際的なゲートウェイとして、グローバルな交通拠点を目指していくんだということなので、特にそういう視点で、国際性ということも大きく強調した形で、まちづくりを考えていって欲しいと思いますので、よろしくお願いします。

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。

それでは、皆様にいただきましたご意見を踏まえまして、十三・淡路駅の各エリア計画、それからまちづくり方針の更新につきまして案を取りまとめて、必要な手続きを進めていくようにお願いいたします。

○報告

・新大阪駅周辺地域のプロモーションの取組について

事務局

・資料説明

資料6 新大阪駅周辺地域のプロモーションの取組について

部会長：森岡 大阪府副知事

ありがとうございます。全体を通しまして、ご意見・ご質問等ありましたら、よろしく
お願いいたします。

一同

意見なし

部会長：森岡 大阪府副知事

それでは、本日の議事はすべて終了いたしましたので、進行を事務局にお返しします。

○閉会

部会長：森岡 大阪府副知事

本日は、お忙しい中ご足労いただき、また、様々な貴重なご意見を頂きまして、本当
にありがとうございます。感謝申し上げます。

新大阪駅エリアについては、交通結節機能強化に向けまして、本日設置した検討会に
おいて、関係者の皆様と連携しながら、駅前広場の機能向上や駅とまちをつなぐ歩行者
動線などについて、具体的な検討を進めてまいりたいと考えております。

十三駅エリア・淡路駅エリアにつきましては、エリア計画を作成し、これを用いて、
早期からまちづくりをPRし、良好な都市開発プロジェクトを誘発していけるよう取組
んでまいります。

いよいよ開幕間近となりました大阪・関西万博では、多くの方々が大阪を訪れること
から、新大阪駅周辺地域のまちづくりを広くPRするチャンスだと考えております。こ
の機会を捉えて、更新するまちづくり方針や新大阪駅エリアのまちづくりのキャッチフ
レーズなどを用いまして、皆様と連携して積極的な情報発信を行いながら、民間都市開
発の機運醸成に向けた取組を展開していきたいと思っております。

新大阪・十三・淡路の3つのエリアがそれぞれの特色を活かしながら一体となって魅

力の高い拠点が形成されるよう、皆様には引き続きのご協力をお願いしまして、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。